

Dell EMC Storage Resource Manager (SRM)

ストレージ環境を視覚化、分析、最適化

基本



Storage Resource Manager

仮想化：

- アプリケーションからストレージ アレイに至るまでの関係とトポロジーを表示する
- アプリケーションの正常性をストレージの重要業績評価指標 (KPI) と関連付ける

分析：

- マルチベンダー、従来型、ソフトウェア定義ストレージ環境でのブロック、ファイル、オブジェクト容量使用率に関するインサイトを得る
- 設定コンプライアンスを検証する
- What-if 分析により、構成の変更のプランニングをシンプルにする

最適化：

- アプリケーション ワークロードを適切なストレージ階層に合わせる
- 自動化されたトレンド分析により、容量のプランニングを合理化する
- マルチテナント、チャージバックまたはショーバックレポートによりコストの透明性を高める

ストレージ コストを抑える

業界をリードするアナリストの推定によると、企業が管理するデータは、今後 12 か月間で 25%を上回ると予想されています。データセンターは、速度、俊敏性、モビリティを向上させ、成長を促すように設計する必要があります。急速なデータの増加とサービスレベルに対して高まる期待により、従来のストレージ環境において新たな管理の課題がもたらされています。Dell EMC Storage Resource Manager™ (SRM) は、市場をリードする幅広いストレージ監視/レポート作成ソリューションです。このソリューションを使用して、IT 部門は、エンドツーエンドの異機種混在ストレージ環境を可視化して分析し、最適化することができます。SRM では、ホスト、ファブリック、アプリケーションなどの接続されたリソースとともに、ストレージのインベントリー、容量、パフォーマンス、データ保護、構成などの詳細を監視し、一括管理によってプロアクティブなアラートや有益なレポートを生成できます。SRM は、今日のストレージ投資の管理に役立つと同時に、データストレージへの投資をサポートする管理フレームワークを提供します。

仮想化

SRM は、仮想化率が高く、拡大を続ける複雑なストレージ環境を管理するために構築されました。SRM を使用すると、アプリケーションから仮想/物理ホストや LUN に至るまでの関係やトポロジーの詳細を可視化して、サービスの依存関係を特定することができます。パフォーマンスのトレンドをデータパス全体にわたって確認したり、リソースを競合しているホストを特定することができます。SRM を使用すれば、ストレージがアプリケーションに及ぼしている影響を把握し管理することができます。よりよく把握することで、ストレージリソースを最適化し、急激に増加するデータのコストを管理できます。

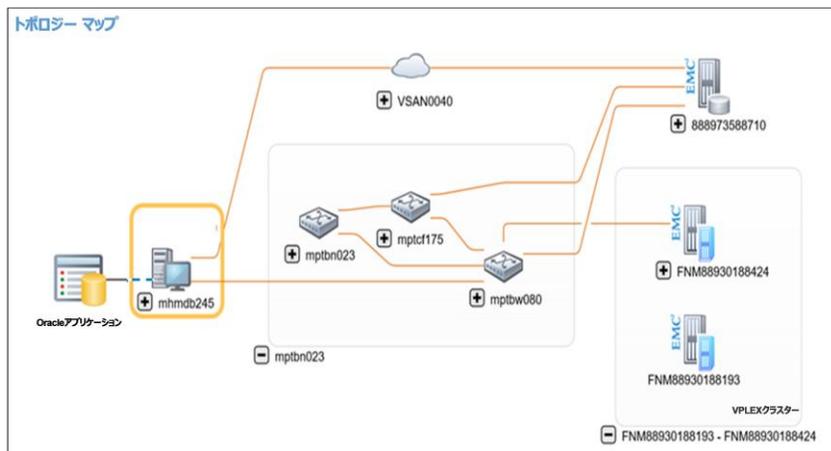


図 1：エンドツーエンドのトポロジーとアプリケーションからインフラストラクチャ マッピングまでを可視化。

分析

SRMは、正常性や構成の分析、および容量増加の分析に役立ちます。さまざまなユーザーや役割のニーズに合うカスタム ダッシュボードとレポートから、SLAの問題をすぐに見つけることができます。SRMでは、データセンター全体で使用されているブロック容量やファイルおよびオブジェクト容量をトラッキングし、組み込みのビューで表示できるため、容量の利用者や使用率、容量を追加すべきタイミングを把握できます。

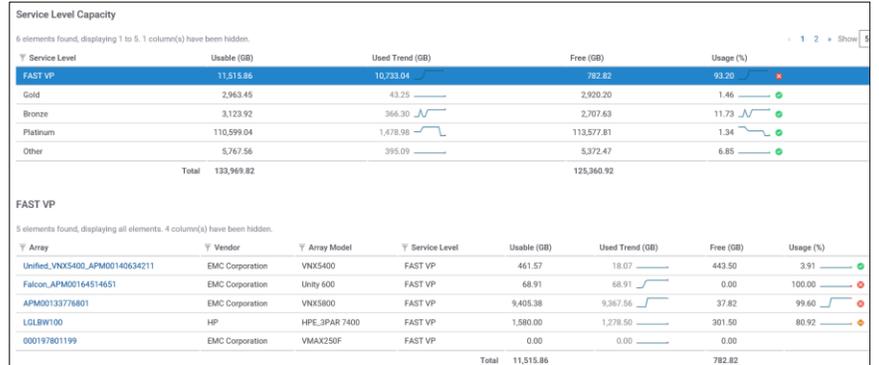


図 2：サービスレベルごとの容量使用率の分析。

設計のベスト プラクティスと Dell EMC サポート マトリックスへのコンプライアンスを継続的に確認し、常にサービスレベルの要件を満たすように環境を維持できます。また、SRMには構成の変更の「What if」分析機能が備わっており、構成の変更によって発生する可能性がある不適切な構成をプロアクティブに検出できます。



図 3：ベスト プラクティスと Dell EMC サポート マトリックスへのコンプライアンスの検証。

最適化

SRMは、容量の最適化と生産性の向上を実現し、ブロック、ファイル、オブジェクトストレージへの投資を最大限に活用するのに役立ちます。ワークロードおよびレスポンスタイムの履歴を表示する機能が用意されているため、選択したストレージ階層が正しかったかどうかを確認できます。SRMは、競合がないことを確認し、パフォーマンスインパクトを軽減するために、ワークロードの分散を最適化する際にも役立ちます。

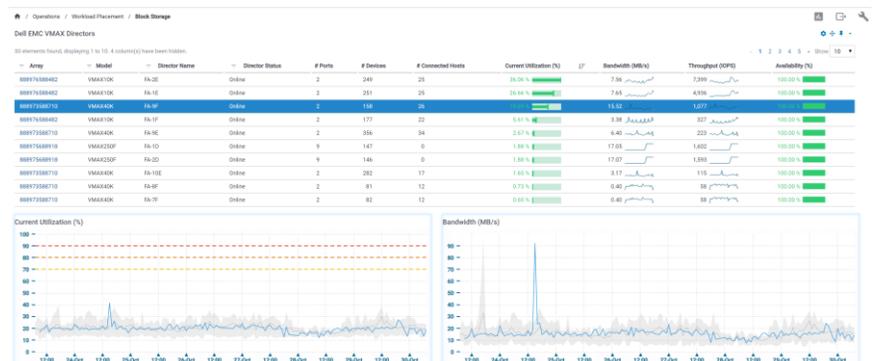


図 4：ワークロードの傾向に応じたストレージの最適化。

SRM はすべてのストレージ資産を検出し、使用されていないストレージ（IOPのないLUNやマスクされていないLUN）を再利用できる領域や、シンプロビジョニングをいっそう活用してストレージ使用率を向上できる領域についてのインサイトを提供します。

容量に関する詳細なレポート作成と予測機能によって、購入プロセスを向上させるプランニングが可能となり、コストを削減できます。これらの情報を活用すれば、ご使用のストレージ環境を最適化して、ROIを高めることが可能になります。



Dell EMC SRM の
[詳細を見る](#)



Dell EMC エキスパートへの
[お問い合わせ](#)